

OLCグループ CSRレポート2017

ダイジェスト 2017年9月



OLCグループのCSR

企業使命 自由でみずみずしい発想を原動力に
すばらしい夢と感動、人としての喜び、そして、やすらぎを提供します

OLCグループ CSR方針 OLCグループのCSRは、心豊かな社会、夢あふれる未来を目指して、
5つの「大事にしたいこと」に取り組んでいきます

かけがえのない 地球環境への思いやり

かけがえのない地球環境を
次の世代につないでいくために
環境への配慮を事業活動の前提として
環境課題に真摯な姿勢で
取り組んでいきます

GO! P.13

社会からの信頼に つながる誠実さ

健全な事業活動とマネジメント、
社会・地域との共生や
開かれたコミュニケーションなど、
企業として誠実であり続けることで
社会からの信頼を築いていきます

GO! P.8

未来をひらく 子どもたちの笑顔

子どもたちの笑顔から広がる家族や地域の絆
ひいては心豊かな社会のために
企業市民として、子どもたちを育み、支える
社会貢献活動に取り組んでいきます

GO! P.12

新たな感動を創造する 活力あふれる人財

新たな感動を創造するために、
一人ひとりが社会に視野を広げ、
ポテンシャルを最大限に発揮できるよう
支援します

GO! P.10

お客さまと 社会にひろがるハピネス

お客さまの社会的視点・ニーズを意識した事業活動により
お客さま、そして社会にさらなるハピネスを提供していきます

GO! P.11



目次

本レポートでは、OLCグループCSR方針にある5つの「大事にしたいこと」に沿って、
個々の活動をご報告しています。

| | | |
|--------------------------------|-------|-----|
| OLCグループのCSR | | P.0 |
| トップメッセージ | | P.2 |
| 特集 価値創造に向けた CSRストーリー | | P.3 |

5つの「大事にしたいこと」への取り組み

| | | |
|----------------------|-------|------|
| * 社会からの信頼につながる誠実さ | | P.8 |
| * 新たな感動を創造する活力あふれる人財 | | P.10 |
| * お客さまと社会にひろがるハピネス | | P.11 |
| * 未来をひらく子どもたちの笑顔 | | P.12 |
| * かけがえのない地球環境への思いやり | | P.13 |

OLCグループのCSR

株式会社オリエンタルランドが社会に提供し続けてきたのは、ほかのどの場所でも体験できない「ハピネス(幸福感)」です。テーマパークからテーマリゾートへの展開、そしてそのほかの事業を加え、OLCグループの事業は拡大してきましたが、「ハピネスの提供」を起点に、「夢、感動、喜び、やすらぎを提供し、心の活力を創造すること」が社会に向けた提供価値であるということ変わりありません。

当社グループは、「自由でみずみずしい発想を原動力にすばらしい夢と感動、人としての喜び、そして、やすらぎを提供します」という企業使命のもと、「心豊かな社会、夢あふれる未来」の実現に寄与したいと考えています。そのため5つの「大事にしたいこと」に取り組んでいくこと、それが私たちのCSR(企業の社会的責任)です。



CSRの推進体制と中期計画

株式会社オリエンタルランドは、「社会活動推進部」を設置し、委員会や各部門、グループ会社と連携しながら、

OLCグループ全体のCSRを推進しています。

2016年度は、「OLCグループCSR方針」を基盤として、社会からの要請を踏まえ、2020年度までのCSR中期計画を策定しました。策定にあたっては、ISO26000や、2015年9月に国連で採択された「持続可能な開発目標(SDGs)」、ESG投資指標などを参照して、2020年度の目指す姿や、年度ごとの目標などを設定しています。

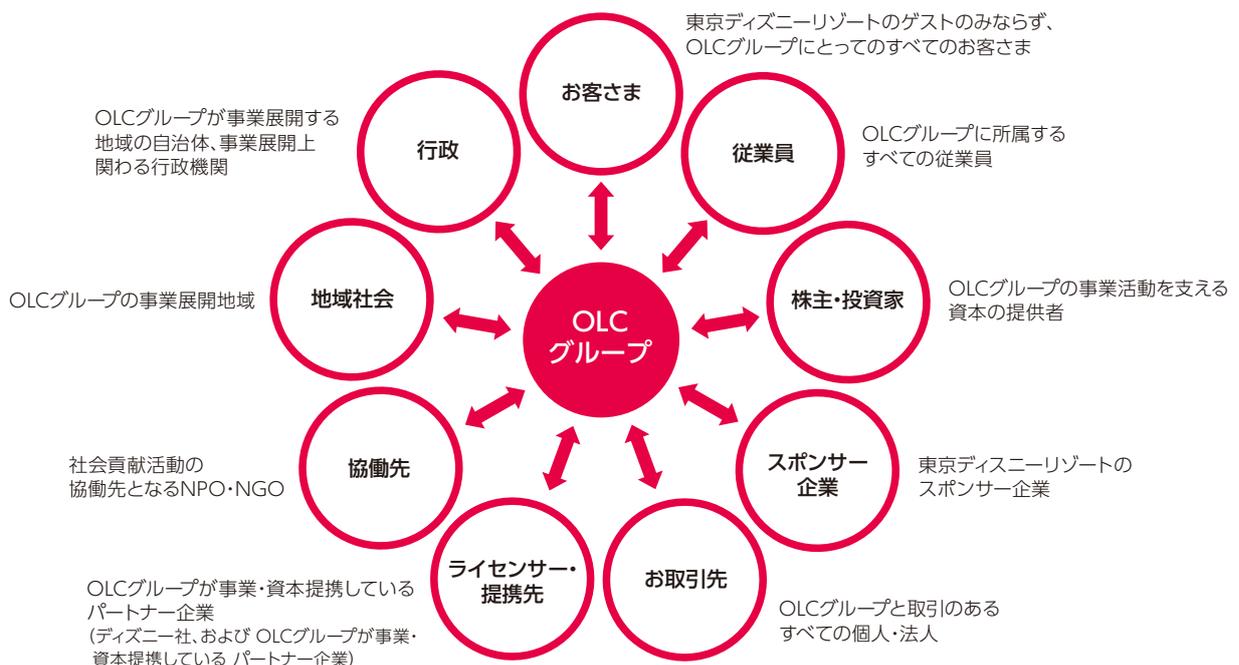
当社グループは、SDGsと事業の関わりをはじめ、社会で当社グループが果たす役割を検証したうえで、CSR中期計画を人権、環境、社会貢献の3テーマを中心に、取り組みを進めていきます。

ステークホルダー・エンゲージメント

当社グループは、お客さま、従業員、株主・投資家、スポンサー企業、お取引先、ライセンサー・提携先、協働先、地域社会、行政の皆さまとの直接的な対話を重視して、日々の事業活動を推進しています。

またCSR視点で潜在的な課題を把握し、広く社会のニーズに対応することが重要だと考えています。そのため、CSRの専門家など有識者にさまざまな視点からご意見をいただき、活動やレポーティングに反映するステークホルダー調査を毎年実施しています。

OLCグループのステークホルダー



※ 本レポートでは、東京ディズニーリゾートのお客さまを「ゲスト」、OLCグループのすべてのお客さまを「お客さま」と記載しています

TOP MESSAGE

50年先、100年先にも 「夢・感動・喜び・やすらぎ」を 提供するために、挑戦し続けたい。

代表取締役社長(兼)COO 上西 京一郎



Q OLCグループならではのCSRについて教えてください。

株式会社オリエンタルランドは、1960年に「千葉県浦安沖の海面を埋め立て、商業地・住宅地の開発と大規模レジャー施設の建設を行い、国民の文化・厚生・福祉に寄与すること」を目的に設立いたしました。1983年の東京ディズニーランドのオープン、その後2001年の東京ディズニーシーのオープン、加えて同時期にディズニーホテル、複合型商業施設、モノレールなどを一斉にオープンさせ、舞浜エリアをテーマパークからテーマリゾートへと発展させてまいりました。現在では2つのテーマパークに年間3,000万人を超えるゲストをお迎えしています。

OLCグループは、「夢、感動、喜び、やすらぎ」を提供することを企業使命としており、事業活動を通じて、「心豊かな社会、夢あふれる未来」の実現に寄与したいと考えております。「心豊かな社会、夢あふれる未来」の実現に向けて、CSR方針で示す5つの「大事にしたいこと」に取り組むこと、それがOLCグループのCSRです。具体的には、ガバナンスやコンプライアンスなど誠実な企業活動の基盤となる「社会からの信頼につながる誠実さ」、人材育成など従業員に関わる取り組み「新たな感動を創造する活力あふれる人財」、事業活動にCSR視点を盛り込む「お客さまと社会にひろがるハピネス」、子どもたちを育成・支援する社会貢献活動「未来をひらく子どもたちの笑顔」、環境課題への対応「かけがえのない地球環境への思いやり」です。

これらの5つの「大事にしたいこと」を礎として、人々の価値観の多様化、ライフスタイルの変化、人口減少などの外部環境の変化に着実に対応し、社会からの要請やお客さまの声に耳を傾けながら、当社グループならではのCSRを推進し、ひとつでも多くの笑顔を生み出していきたいと考えています。

Q 今後の成長に向けたCSRの取り組みについて教えてください。

「2020中期経営計画」では、ハード面として“新鮮さ”と“快適さ”を追求し、魅力的なコンテンツや施設の投入をはじめ、ゲストの利便性を高めるためのテーマパークの環境整備に注力していくことに加え、ソフト面として東京ディズニーリゾートならではのホスピタリティのさらなる向上に向けて、長期持続的な人財力の強化に注力していくことを掲げています。

この中期経営計画を着実に遂行し、さらなる成長を遂げるためには、社会の変化を見据え、社会からの期待や要請に応えるというCSR視点が重要となります。特集「価値創造に向けたCSRストーリー」にもありますように、ゲストの皆さまのパーク体験、あるいはそのご体験をお届けするプロセスの中には、たくさんのCSR要素が組み込まれており、これらに誠実に取り組み続けていくこと、そして進化させていくことが、提供価値を高め、新たな価値の創造につながると考えています。

Q 最後に、ステークホルダーに向けたメッセージをお願いします。

今後、人口動態の変化はもちろん、さまざまなテクノロジーが進化し、ライフスタイル、コミュニケーションスタイルの多様化などが進んでいく中においても、家族や大切な方との絆や、喜びや感動といった目に見えない価値、心の豊かさに対する重要性は変わらないものであり、むしろその重要性は増していくと感じています。

これからもOLCグループはCSR方針である5つの「大事にしたいこと」を、従業員一人ひとりが常に心にとどめながら、心豊かな社会、夢あふれる未来の実現に向け、50年先、100年先にも「夢、感動、喜び、やすらぎ」を提供し続けてゆく誇りと責任を胸に、挑戦し続けてまいります。今後ともご理解とご支援のほど、お願い申し上げます。

特集：価値創造に向けたCSRストーリー

ゲストにハピネスを提供するため、なによりも安全を優先するテーマパークのオペレーション力や品質へのこだわり、ホスピタリティの要となる人財力、そして、ひとつの「街」ともいえる規模のテーマパークを営むうえで欠かすことのできない環境への配慮。OLCグループは、こういった当社グループならではの強みを活かした事業活動を通じて、さまざまな価値を創造しています。本特集では、当社グループが社会に提供する価値について、テーマパークでの1日とそれを支える環境マネジメントのそれぞれの視点からご紹介します。

P.4-5

CSRストーリー① テーマパーク編



P.6-7

CSRストーリー② 環境マネジメント編

特集：価値創造に向けたCSRストーリー

CSRストーリー① テーマパーク編

OLCグループがテーマパーク事業を通して提供しているのは、一人ひとりのゲストに向けた「夢、感動、喜び、やすらぎ」といった「体験価値」だけにとどまりません。

ここでは、私たちが創出している、多様な価値をご紹介します。

テーマパークの中のCSRを探してみよう!



東京ディズニーシーに入園



入園

※開園時間は日によって異なります



CSR POINT

安心して過ごすための手荷物検査

危険物や不審物が持ち込まれることのないよう、エントランスで手荷物チェックを実施しています。そのほか、パーク内外のパトロールも実施し、警備、防犯体制を整えています。



アトラクションに乗車

CSR POINT

セーフティーバーのダブルチェック

ゲストが下げたセーフティーバーのロック状態を、キャストが1台ずつ必ず確認しています。ハード面だけでなく、ソフト面からも安全を確保する取り組みを進めています。

ジュースを飲んでひと休み



CSR POINT

徹底した分別によるリサイクル

細かい分別基準を定め、キャストによる分別を行っています。一部店舗には、水分別ができるごみ箱を設置し、ゲストにも分別にご協力をお願いしています。

パーク内をゆっくりお散歩



CSR POINT

どこにいても感じられるハピネス

魅力的な空間、安全で清潔な環境、施設などハード面へのこだわりとクオリティの高さ、そしてキャストのホスピタリティにより、ゲストにハピネスを提供しています。



レストランでランチ



CSR POINT

レストランの布ナプキン

レストランの布ナプキン折りは、株式会社舞浜コーポレーションの障がいのある従業員が担当。ほかにも3Dメガネ洗浄や値札付けなど、特性に応じた幅広い仕事を担当しています。



CSR POINT 従業員発案の封ができるポップコーンBOX

封ができるポップコーンBOXは、従業員提案制度の応募アイデアを商品化したものです。これまでに、さまざまなアイデアが実現しています。

おやつはポップコーン



昼のショー鑑賞



CSR POINT ゲストコントロールキャスト

ショー鑑賞エリアに、キャストを配置し、お子さまの飛び出しや緊急時の誘導に備えています。

急な体調不良のときは



CSR POINT 緊急時に備える救護室

ケガや急な体調不良に備えて、パーク内にはナースが常駐する救護室があります。休養ベッドのご提供や近隣の病院のご紹介もしています。

ショップでお買い物



アトラクションの順番待ち



CSR POINT 待ち列エリアの暑さ対策

ゲストの声をもとに、待ち列エリアにミストファンや扇風機を設置しています。ゲストからお寄せいただく声は、社内で共有し、サービスの改善に活かしています。

CSR POINT 環境に配慮したお買い物袋

石油系材料のものよりCO₂の排出量が削減できる、バイオマス(サトウキビ由来の材料)を一部に使用したお買い物袋を導入しています。

そろそろホテルへ

CSR POINT 省エネルギーに配慮した電飾

パークでは、施設の照明や電飾のLED化を進めています。東京ディズニーランドの夜のパレードでは、フロート24台中21台にLEDライトを搭載し、電力の削減を進めています。



退園

※閉園時間は日によって異なります

特集：価値創造に向けたCSRストーリー

CSRストーリー② 環境マネジメント編

年間3,000万人を超えるゲストが訪れ、多数のキャストが働く東京ディズニーリゾートは、ひとつの大きな「街」といえます。この街でゲストが安心して快適に過ごせるように、また、かけがえのない地球環境を次世代につなぐために、OLCグループは、事業活動を通じて、多角的な環境マネジメントに取り組んでいます。このパートでは、インフラを担い、水やエネルギーを有効活用する、24時間体制のさまざまな取り組みを紹介します。



ある日の環境マネジメント

5:00

水景設備運転開始

パーク内の噴水や滝を起動。水は循環システムによりろ過し、無駄なく利用します。



7:00

空調設備運転開始

空調用の冷水や温水を1ヵ所で製造し、集中管理。約1,200世帯をまかなえる熱を有効活用しています。



11:00~15:00

太陽光パネルの利用

屋上に太陽光パネルを設置し、夜のパレード使用分以上を再生可能エネルギーでまかっています。

約600kW
(約200世帯分)



Voice

複合的な機器活用によるエネルギー管理

コ・ジェネレーションシステム、氷蓄熱システムなどを、24時間体制で複合的に運用し、効率的なエネルギー管理を実現しています。ゲストのハピネスのために、安定供給し続けることはもちろん、高効率機器の増設など、さらなる省エネルギー化に取り組んでいます。



ファシリティ技術部
設備グループ
ユニットマネージャー
信山 直樹

コ・ジェネレーションシステム

蒸気を効率的に製造し、排熱を空調や給湯に活用しています。



Voice

広大な水域の水を すべて循環させ有効活用

パーク内の海、河、滝の水はすべてろ過し、徹底的な水質チェックを経て、循環させています。広大な水域の水は、自然蒸発分のみ補給、雨の日にはオーバーフロー分を調整し、効率よく水位を一定に保ち、ゲストに楽しんでいただける水辺の景色をつくっています。



ファシリティ技術部
設備グループ
エンジニア
加藤 祐一

水処理施設

自社の水処理施設で水をリサイクルし、トイレの洗浄用水として有効活用しています。



12:00~16:00

自家発電機の活用

特に世の中の電力消費が高まる夏季は、日中に自家発電機を稼働し、ピークカットを実施しています。



19:00

LED電球の活用

パーク施設やバックオフィスのLED化を推進し、CO₂とランニングコストを削減しています。



22:00

氷蓄熱システム稼働

コスト効率の良い深夜電力を活用して氷を製造し、日中の空調で使用しています。



エネルギー・ マネジメント・システム

電気使用量を可視化し、各組織を巻き込み、空調の運転時間などを最適化します。



Voice

きめ細かな運用により 環境負荷を低減

気温や日照量、ゲストの動向などを分析し、実際に現場の状況も確認しながら、空調の温度設定や稼働時間をきめ細かく調整、運用効率化を図っています。「ゲストの快適さ」と「環境負荷低減」の両立には、ハード面のみならず、人が関わるソフト面も重要となります。



ファシリティ技術部
設備グループ
ユニットマネージャー
高橋 昭彦

5つの「大事にしたいこと」への取り組み

ここからは、OLCグループCSR方針が示す5つの「大事にしたいこと」への取り組みをご報告します。

社会からの信頼につながる誠実さ



>>より詳しくはウェブサイトへ

<http://www.olc.co.jp/ja/csr/5daiji/management.html>

- ✦ お客さまの安全を確保し安心して楽しみいただくことは、私たちの最も重要な責任です
- ✦ 企業としてコンプライアンスを遵守し、誠実であり続けることで、ステークホルダーとの信頼関係構築、持続的成長を目指します
- ✦ 「夢、感動、喜び、やすらぎ」の提供を遂行するため、コーポレート・ガバナンスの強化に努めます

Topics | アトラクションの安全性を高める工夫

東京ディズニーリゾート関連

「バズ・ライトイヤーのアストロブラスター」では、2016年度に、乗り場の安全性をさらに高めるために、フェンスを設置しました。フェンスを設置したことで、ゲストは、ムービングベルトにより真つすぐにアクセスできるようになりました。



I マネジメント体制

● コーポレート・ガバナンス

企業経営の透明性と公平性を高め、持続的な成長・発展を遂げ、かつ社会的な責任を果たしていくことが重要との認識のもと、「内部管理の充実」「経営の透明性の向上」「経営監視機能の強化」に取り組み、継続的にコーポレート・ガバナンスの強化に努めています。

● コンプライアンス

法令遵守はもとより、社会規範、企業倫理を常に意識して行動しています。コンプライアンスを実践するための具体的な行動基準『ビジネスガイドライン』を定め、従業員の行動のよりどころとしています。また、「コンプライアンス委員会」を設置し、相談通報窓口を整備しています。



全社員に配布される「ビジネスガイドライン」

● 人権に関する取り組み

人種、国籍、性別、年齢、信条、心身における障がいの有無などによるいかなる差別や人権侵害も行わないことを宣言しています。また、『ビジネスガイドライン』では、差別・嫌がらせや、そのような行為の助長・許容を禁じ、人権を無視した強制労働、児童労働の許容や関与も禁止しています。

● お取引先とのパートナーシップの構築

「OLCグループお取引先行動指針」に基づき、法令遵守はもとより、製品の安全、労働者の安全と人権、環境保全といった幅広く社会に配慮した取引を追求しています。

東京ディズニーリゾート関連

● サプライチェーン・マネジメント

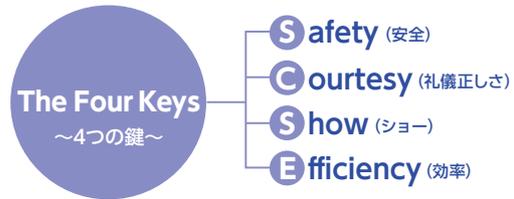
ディズニー・ブランド商品の製造委託工場については、ディズニー社の国際労働基準プログラム(ILSプログラム)の遵守が義務付けられています。

II 安全・安心の確保（テーマパークの安全）

東京ディズニーリゾート関連

● 行動規準「The Four Keys ～4つの鍵～」

ディズニーテーマパーク共通の行動規準「The Four Keys ～4つの鍵～」を、ゲストに最高のおもてなしを提供するための判断や行動のよりどころとしています。また、4つの並び順は、行動の優先順位を示しています。



● アトラクションの安全

総勢約1,000名に及ぶ技術者が、点検、メンテナンスを実施するなどのハード面に加え、運行時の安全確認を徹底するなどのソフト面においても、安全性の維持・向上に取り組んでいます。



出発前の安全確認

● ショー・パレードの安全

安全に関するガイドラインに沿って設計、施工管理、点検、整備作業を行うなどのハード面に加え、キャストへの定期的な教育によるオペレーションなどのソフト面においても、安全性の維持・向上に取り組んでいます。



パレードルートにキャストを配置し、飛び出しや、緊急時の避難経路確保・誘導に備える

● お買い物の安全

日本はもとより、欧米の基準を取り入れた独自の品質検査基準を設定し、第三者機関による検査を実施するなど、商品の安全と品質の管理を徹底しています。



● お食事の安全

国際的な安全管理手法であるHACCPの考えを取り入れ、徹底した衛生管理を行っています。また、食品に携わる従業員を対象に、食材の取り扱い方法など、食品安全教育を実施しています。



提供前の芯温確認など、安全を確保する衛生管理体制を徹底

● 防災

地震などの災害や非常事態に備え、従業員が取るべき措置手順をマニュアル化するとともに、周知徹底を図るため、東京ディズニーランド、東京ディズニーシー全197施設で年1～2回の防災訓練、さらに、区画を分けた年4回の総合防災訓練を実施しています。

防災訓練
全197施設で実施



● キャストの安全

ゲストの安全に加え、テーマパークの運営を担うキャストの安全も重視し、さまざまな取り組みを行っています。

水面近くで作業するキャストは水感知機能の付いた自動膨張式救命衣を装着



新たな感動を創造する活力あふれる*人財



>>より詳しくはウェブサイトへ

<http://www.olc.co.jp/ja/csr/5dajji/relation.html>

- *「夢・感動・喜び・やすらぎ」の源泉は人財です。お客さまと社会にハピネスを提供し続けるため、従業員一人ひとりのホスピタリティ向上を図ります
- *従業員満足 (ES) を高め、全従業員が力を最大限に発揮しながら安心して働き、成長を実感、働きがいを感じることを目指します

Topics | パートタイム表彰

株式会社オリエンタルランドは、厚生労働省主催の「平成28年度パートタイム労働者活躍推進企業表彰」において、当社の準社員に向けた人事制度や施策が評価され、「最優良賞（厚生労働大臣賞）」を受賞しました。



企業風土とES（従業員満足）

男女の分け隔てない社風、人の喜びを自分の喜びと感じるマインドといった企業風土のもと、従業員が意欲的に仕事に取り組める施策を導入しています。

従業員がゲストサービスのアイデアを提案する「I have アイデア」の応募数

2,121件



東京ディズニーリゾート関連

キャスト同士が称え合う「スピリット・オブ・東京ディズニーリゾート」で交換されたメッセージ数

382,252枚



安全衛生

すべての従業員の安全と心身の健康増進のため、安全教育や安全ウォークスルー、健康管理センターでの指導、社内外の相談窓口の設置に取り組んでいます。



仕事と生活の調和

私生活を充実させながら、より高いパフォーマンスを発揮できる制度と風土づくりに努めています。

月平均所定外労働時間

16時間



女性活躍と両立支援

女性従業員の活躍推進や仕事と子育ての両立支援に取り組んでいます。

女性従業員の管理職比率

11.9%



障がい者雇用

障がいのある従業員の特性に応じた仕事の提供、職場環境の整備に取り組んでいます。

障がい者雇用率

2.38%



お客さまと社会にひろがるハピネス



>>より詳しくはウェブサイトへ

<http://www.olc.co.jp/ja/csr/5daiji/social.html>

- ✳️ さまざまな形態のファミリーや外国人など、多様化するニーズの変化に目を凝らし、常に進化を続ける姿勢を保ち続けます
- ✳️ 子どもや高齢者、障がい者まで広く社会的な視点を取り入れた事業活動を通じて、お客さまと社会にさらなるハピネスを提供し続けることを目指します

Topics | テーマパークにおける多言語対応

東京ディズニーリゾート関連

ウェブサイトとガイドマップは日本語、英語、中国語(繁体字、簡体字)、韓国語、タイ語、インドネシア語で提供しています。また、英語版の予約・購入サイトでは、ディズニーホテルの予約、ディズニーeチケットや公式宿泊プランの販売もしています。



お客さまと社会にハピネスを届ける

社会的視点やニーズを意識した事業活動を展開し、すべてのゲストに楽しんでいただける環境づくりなど、お客さまの期待や社会からの要請に応え、お客さまと社会にさらなるハピネスを提供します。



自然とお子さまの「食育」につながるようメニューを工夫(東京ディズニーランドホテル)

お客さまの声に学ぶ

お寄せいただいた声に耳を傾け、より良いテーマパークを目指して進化を続けています。

ゲストからお寄せいただいた声
14,778件



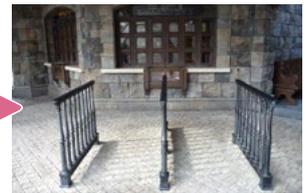
ゲストの声をもとに暑さ対策として待ち列エリアに扇風機やミストファンを設置

ノーマライゼーションの追求

施設や支援ツールの整備、キャストのサポートなどを通じて、障がいのある方をはじめ、高齢の方、妊娠中の方など、テーマパークを訪れるすべてのゲストに楽しんでいただけるよう努めています。



車イスご利用ゲストやお子さまに配慮し、手すりの間隔を拡幅



1台で音声ガイドと字幕表示を提供できる「ディズニーハンディーガイド」



手話講座を受講し社内認定会で合格したキャストは、胸に手話ピンを着用しています

未来をひらく子どもたちの笑顔



>>より詳しくはウェブサイトへ

<http://www.olc.co.jp/ja/csr/5daiji/contribute.html>

- ✳️ お客さまと社会にハピネスを提供するという企業特性を活かし、さまざまな社会貢献活動に取り組みます
- ✳️ 子どもたちを育み、支えることを中心とした取り組みを通じて、次世代の育成やコミュニティの発展に貢献することを目指します
- ✳️ 大規模震災で被災された皆さまに、継続的な支援を実施します

Topics | 被災地の小学校訪問

東京ディズニーリゾート関連

2016年9月、東京ディズニーリゾート・アンバサダーとディズニーの仲間たちが、熊本県上益城郡の益城町、御船町、嘉島町の小学校8校を訪問しました。



子どもたちを育み、支える活動

事業活動と関わりの深い家族、中でも未来をひらく存在である子どもたちを育み、支えるための社会貢献活動に取り組んでいます。



従業員と会社が一体となって、困難な状況にある世界の子どもたちを支える団体に寄付する「OLCグループ こどもスマイル基金」



東京ディズニーリゾートで活躍する振付師とダンサーによる「ダンス」出張授業

東京ディズニーリゾート関連



子どもたちがキャストとの交流や体験を通して夢について考える「ディズニー・ドリーマーズ・エクスペリエンス」

福祉活動で
東京ディズニーリゾート・アンバサダー
が訪問した施設数
26カ所



大規模震災に関する取り組み

義援金の寄付や物品の寄贈、小学校への訪問など、東日本大震災や熊本地震で被災された皆さまへの支援に継続して取り組んでいます。



従業員食堂の「WE ARE ONE 心はひとつ スペシャルメニュー」の寄付金で、被災地の小学校にバスケットゴールを寄贈

東京ディズニーリゾート関連

2017年4月に被災地の
新小学1年生に贈った文房具数
約5万セット



かけがえのない地球環境への思いやり



>>より詳しくはウェブサイトへ

<http://www.olc.co.jp/ja/csr/5daiji/environment.html>

- ✳ ハピネスを次世代でも提供し続けるため、環境活動に真摯な姿勢で取り組みます
- ✳ 気候変動に対しては、温室効果ガスの排出を抑制する「緩和」への取り組みや、気温上昇などの影響がお客さまに及ぶことを最小限にするための「適応」への取り組みを推進します

Topics | 環境に配慮したお買い物袋

テーマパークやホテルで提供しているお買い物袋について、サトウキビ由来の材料を一部に使用したバイオマス包材の導入を進めたことにより、従来品に比べ、年間のCO₂排出量を約30%削減しました。

東京ディズニーリゾート関連



地球温暖化への対策

複合的なエネルギー管理と運用の効率化、照明のLED化や太陽光による自家発電などの対策により、CO₂排出量の削減に努めています。



24時間体制で、エネルギーを集中管理するセントラル・エネルギー・プラント

廃棄物を減らすために

ごみの発生を抑制するとともに、細かい分別基準を定め、キャストによるごみ分別を徹底することで、リサイクルを推進しています。



テーマパークの
食品リサイクル
ほぼ100%

東京ディズニーリゾート関連

夜のパレード使用分を上回る、
太陽光自家発電出力規模

約600kW



LED搭載型の
夜のパレードのプロット

21台/24台中



水を大切に使うために

自社の水処理施設で排水の浄化処理を行い、水のリサイクルに取り組んでいます。また、ろ過装置を設置し、広大な水域の水を効果的に循環させています。



自社設備で水をリサイクルし、
トイレの洗浄用水として活用

■ 報告範囲

主に、OLCグループ全体の取り組みについて報告しています。株式会社オリエンタルランド単体やグループ会社の取り組みなどを報告している箇所では、その旨を記述しています。

■ 報告期間

主に、2016年度(2016年4月1日～2017年3月31日)の取り組みを報告していますが、継続的な取り組みや特徴的な取り組みなどについては、この期間前後の活動についても記述していることがあります。

■ 株式会社オリエンタルランド 会社概要

本社所在地 〒279-8511 千葉県浦安市舞浜1番地1
 設立年月日 1960年7月11日
 資本金 632億112万7千円
 従業員数 正社員 3,146名 準社員 18,057名
 (2017年3月31日現在)

■ お問い合わせ窓口

株式会社オリエンタルランド 社会活動推進部
 Tel: 047-305-3053

報告対象の組織・施設の範囲

| 報告対象の組織・施設の範囲 | 表記方法 |
|---|------------------------|
| OLCグループ全体の取り組み | OLCグループまたは当社グループ |
| 株式会社オリエンタルランド単体の取り組み | 株式会社オリエンタルランド |
| 東京ディズニーリゾート [®] の取り組み 東京ディズニーランド [®] 東京ディズニーシー [®] ディズニーアンパサダーホテル [®] 東京ディズニーシー・ホテルミラコスタ [®] 東京ディズニーセレブレーションホテル [®] 東京ディズニーランド [®] ホテルイクスピアリ [®] ボン・ヴォヤージュ [®] ディズニーリゾートライン [®] 舞浜アンフィシアター | 東京ディズニーリゾート |
| 東京ディズニーランド [®] と東京ディズニーシー [®] の取り組み | テーマパーク |
| 東京ディズニーランド [®] 、東京ディズニーシー [®] 個別の取り組み | 東京ディズニーランドまたは東京ディズニーシー |

■ OLCグループのCSR報告ツール

PDFファイル

ウェブサイト

OLCグループ
 CSRレポート2017
 ダイジェスト

OLCグループCSR情報



<http://www.olc.co.jp/ja/csr.html>

オリエンタルランド CSR 検索

PDFファイルの形式で、OLCグループの2016年度のCSRのエッセンスを報告しています。

OLCグループのCSRを網羅的に報告しつつ、TOPICS欄を中心に最新情報を掲載しています。

- * OLCグループは、ディズニー・エンタプライゼズ・インクとライセンス契約を結び、東京ディズニーランド、東京ディズニーシー、ディズニーホテル、ディズニーリゾートラインを経営・運営しています。
- * 見出し横に「東京ディズニーリゾート関連」と記載し野線で囲んだ部分は、株式会社オリエンタルランドがディズニー・エンタプライゼズ・インクのライセンスを受けて東京ディズニーリゾートを経営・運営する会社として実行・管理する取り組みを含みます。

Disney scenes © Disney Enterprises, Inc.

*所属・担当は2017年9月現在のものです。年月日の記載のないデータは、2016年度のものです。

*本レポートは、OLCグループのCSRをまとめたものです。The Walt Disney CompanyのCSRについては、下記をご参照ください。
<http://thewaltdisneycompany.com/citizenship>